

子どもたちが取り組む演習シート 対象：小（高学年）・中・高

☆ 自分が得意な勉強の仕方を知ろう！！

自分がどのように勉強したら、より覚えやすいか、わかりやすいかを考えてみよう！自分に合った勉強の仕方がわかると、勉強がおもしろくなるよ。



【自分の勉強の仕方を考えてみましょう。】

- 下の①～④を読んで、それぞれ当てはまる項目（◎～×）に○をつけましょう。⑤について、ある場合は書きましょう。

①見て覚える・考えるのが得意

◎とても得意 ○まあまあ得意 △ちょっと苦手 ×苦手

例えば・・・教科書を見て、どこに何が書いてあるかわかる。先生や友達のやり方を見ると、わかる。本を静かに読んで覚える。

②聞いて覚える・考えるのが得意

◎とても得意 ○まあまあ得意 △ちょっと苦手 ×苦手

例えば・・・人の話や説明が印象に残る。繰り返し言われることで覚える。説明を順番に聞いた方がわかる。

③字を書いて覚える・考えるのが得意

◎とても得意 ○まあまあ得意 △ちょっと苦手 ×苦手

例えば・・・漢字や英単語、歴史の人物など、ひたすら書くことで手と頭で覚える。とりあえず授業中にメモをたくさんとって覚える。

④絵や図をかいて覚える・考えるのが得意

◎とても得意 ○まあまあ得意 △ちょっと苦手 ×苦手

例えば・・・絵や図に整理すると関連がわかり覚えやすい。キャラクターの名前を覚えるのが得意。資料集などの写真が多い方が好き。

⑤その他

(

)

- 印をつけた項目を参考に、自分の勉強しやすい順番（1～4）を考えてみましょう。



私の勉強しやすい順番は

1 ____ → 2 ____ → 3 ____ → 4 ____ → 5 ____

わかったこと・これからの勉強で生かすこと

【先生方向けの資料です。】

子どもたちは、自分に合った勉強法を知らないままにいることもあります。自分がどうやったらわかりやすいかを知ることは、自分にとって覚えやすい、理解しやすい自主学習にもつながります。



学び方に合った自主学習の例

見て学ぶのが得意…教科書を黙読 or 音読5回

書いて学ぶ・絵や図を描いて学ぶのが得意…資料集を参考にまとめる。書く量を増やす。

聞いて学ぶのが得意…CD等を有効に使う。家庭で読んでもらう or 自分で読んで耳から情報を入れる。

通常の学級で学力を向上させたある先生の言葉



どうやったらわかる？

ある先生は、学級の子どもたちの一人一人の学び方に着目し、授業を進めていました。例えば、話しても、読んでも理解がしにくい生徒たちには、映像で歴史上の人物を教えるなどの工夫の結果、学級全体の学力を短期間で向上させることができたそうです。

【「新たな学び」をより促進するために】

平成29年4月『ふくしまの「授業スタンダード」』の中では、次のように述べています。

「新たな学び」を促すために

- 学びの連続性を大切にします。
 - ・「課題→追究→解決→新たな課題→追究…」という学習の過程
 - ・「授業→家庭学習→（朝の学習）→授業…」という学習サイクル



子どもたちは、自分の学び方（勉強の仕方）がわかり、自分に合った学び方を身に付けることで、自分にとっての「新たな学び」をより促進させることができます！